



活動状況

● 定期月例会の開催

家族の居場所を提供するために、学習会・家族懇談を取り入れて、毎月1回（原則として第2土曜日）の月例会を開催しています。

● 個別相談会の実施

ご家族の方から依頼があれば、「個別相談（有料）」で都度受け付けております。

● ピアサポーターの派遣も行っています

家族会員、会員以外のからの要請があれば、ひきこもり当事者の同意のもと、当会ピアサポーターが訪問活動をしています。

※ピアサポートとは

同じ症状や悩みをもち、同じような立場にある仲間が、当事者に寄り添い、

互いが成長するサポート。

組織概要

この会は、平成26年10月25日に発足し、KHJ全国ひきこもり家族会連合会に所属する当事者家族会です。KHJ本部と全国の支部と連携し、ひきこもり支援のための情報を共有して、ひきこもり家族間の不安・ストレスを軽減し、理解を深め、ひきこもりを力合わせて解決できるよう目指しております。

また、ひきこもりに関する情報を広く社会に発信し、ひきこもりの現状を社会全体で理解できるよう活動しています。

お問合せ先

KHJ 青森県支部 青森さくらの会

住所：青森市桂木3-25-10

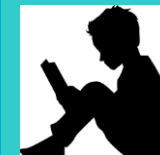
電話：090-8613-5561

電子メール：hiroo-shimoyama@k2.dion.ne.jp



青森さくらの会

親が楽になると子も楽になる



KHJ 全国拠点 8ブロック61支部（平成29年10月現在）



《青森さくらの会》

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会加盟 青森県支部

代表 下山 洋雄

事務局：青森市桂木 3-25-10

TEL：090-8613-5561

(月曜～金曜 10：00～19：00)



<http://aomori-sakuranokai.jimdo.com/>

活動内容（KHJ ホームページより抜粋）

● 家族会における取組を支援する活動

家族会の取り組み（相談会、研修会、居場所などの運営）を支援し、「仲間」として助け合う（互助・共助・ピアサポート）活動を促進することで、家族とひきこもり本人が、社会から孤立することを防ぎます。そして、安心と希望を取り戻し、自尊心を回復し、自己成長できる場所としての役割を担います。

● ひきこもり問題の社会理解と地域連携を促進する活動

行政や関係機関、家族、一般の方に向けて、年一回の全国大会及び、講演会や学習会、セミナー等、ひきこもり問題について広く理解を促す啓蒙活動を行い、身近な地域資源との連携を促進します。また、メディアを通したひきこもり理解への発信を促進します。

● 機関誌「旅立ち」発行、出版、ホームページ等で情報を伝える活動

全国の家族会の取り組みを機関誌「旅立ち」に掲載し、年4回発行しますホームページを通じて、最新の情報をお届けすると共に、会員同士のネットワークを広げ、潜在的に孤立しているご家族への情報提供を行います。また、ひきこもりの理解と支援に役立つ書籍を出版します。

● ひきこもりの実態に関する調査研究活動

全国の家族会の声を施策に反映させるべく、2002年から継続している実態アンケート調査を基に、現状を分析し、提言を行います。先駆的学際的な研究を推進することにより、ひきこもり支援を広げる役割を担います。

● ひきこもり対策への提言を行う活動

誰もが排除されない社会（社会的包摂）と、お互いを認め合い支え合える社会を目指していくために、全国の実情や要望をまとめ、国や自治体に向けてより良いひきこもり支援の在り方を提言します。



《青森さくらの会の役割》

定期的な家族会の集い開催

毎月1回（今年度は第2土曜日が原則として）月例会を開催し、家族とひきこもり当事者が社会から孤立することを防ぐ場所の提供を行う。そのために、講師を招いて学習会を開催や、茶話会で家族同士の情報交流を図ります。

地域連携の促進を図る

ひきこもり問題解決のため、行政（県庁、自治体）や関係機関への積極的な働きかけすることにより、身近な地域資源との連携を図る活動をします。

ひきこもり当事者への働きかけ

KHJ 本部認定のピアサポーターが、ひきこもり当事者の合意のもと寄り添ったフォローを継続して行う。